

中小企業診断士の 経営革新、ススタ その5

津波古 透

フィギュアスケートの荒川静香さんが、トリノオリンピックの直前にコーチを変えたというニュースを知っている方も多いと思います。彼女は後のインタビュで、リンクサイドから指示を出す有名コーチではなく、一緒に氷の上を滑りながら自分と同じ目線で考えてくれる人が必要で、その結果、見事金メダルに輝くことができたのだと述べていたそうです。

トップクラスのスポーツ選手の置かれた状況は企業経営者にも通じるところがあります。経営者は企業規模や事業内容に関わらず、常に事業のすべての責任を負わなければならないというプレッシャーと、最後に意思決定をするのは経営者が一人で行わなければならないという孤独感を感じながら日々を過ごしているものなのです。その状況の中で、同じ目線で一緒に経営を考えてくれる相手がいれば、そのことだけで孤独感から開放され、課題解決に向けて前進する力も湧いてくることでしょう。

近年、県内各商工会で会員事業所の経営革新を推進していることにより、商工会の支援を受けて県へ計画申請を行う企業の割合が大幅に増え



てきております。県の経営革新承認審査会でも、以前はほとんどがコンサルタントや会計事務所の指導を受けた企業がほとんどでしたが、ここ最近は商工会の指導を受けた企業が経営指導員を伴って審査を受けるというケースが多くなってきました。3月8日に開催された審査会でも、5社中4社が商工会を利用した申請で、それぞれ担当した

地域の経営指導員が審査にも立会いをしています。会計事務所やコンサルタントならば、ここまでの指導を行うと通常は結構な料金がかかるのですが、商工会ではこれらの指導をすべて無料で行っています。

ます。このことは会員事業所の皆さんにとって、商工会を利用する大きなメリットといえるでしょう。しかしながら、申請を行う企業の皆さんは無料だからという理由だけで商工会に相談しているわけではありません。経営革新計画の承認を得た企業の方に商工会に相談した理由を聞くと、「経営指導員が自分と一緒に考えてくれる」という理由がほとんどなのです。

一方の経営指導員の側でも、経営者としての本音や将来の目標、ビジョンを語ってくれる経営者に対しては、それなりに力が入るといえるものです。地域の商工会だからこそ、経営者が相談できる内容も深く、長期的な視野に立って一緒に考えることができるというもので、実際に経営革新の推進に熱心な商工会の経営指導員に聞くと、夕方7時頃に電話で会社に呼び出され、真夜中まで経営計画について相談されたり、計画策定に留まらず、新規取引先の選定にあたって詳細な指導をしたりすることもあったそうです。

従来の商工会による経営指導の枠組みは、融資斡旋や税務指導など、どちらかというところの課題への対応しかできないことがほとんどでした。経営指導員として融資相談を受け、融資斡旋のための書類を作成したものの、根本的な経営改善にはつながらないのでは、という懸念を持つことも少なくはないというのが実情で、そのようなときに、もっと経営の根本的な相談を受けることができるようなツールがあればいいのに、と考えた経営指導員も少なくはないはず。この課題を解決に導いているのが経営革新計画策定指導であるといえます。つまり、経営革新指導を行うことにより、商工会における経営支援業務も大きく変わろうとしているということが言えます。

各地の商工会で経営革新セミナーが実施されるようになりましたが、このセミナーを主催するにあたっては大きく二つの目的をもって実行しています。一つは、会員事業所の経営革新をすすめるため、もう一つは商工会が自らの経営革新をすすめるためです。会員事業所の経営革新をすすめるということは商工会に求められている機能の一つであり、会員事業所が変化する経営環境に適應できるように様々な支援策を講じることは商工会の重要な役割の一つです。個性的で活力のある企業を地域の中に多く存在するようにしていくことは様々な効果を波及させることになり、それ自体に価値があることといえます。

一方の商工会では、会員事業所に対して経営革新をすすめるのみではなく、商工会組織自体も自らの役割を見直し、地域の経済団体として、何が会員事業所から求められる本来の業務なのかを再認識し、商工会の置かれた環境の変化に適應しようとしていくの

です。

＜著者プロフィール＞

〈文〉津波古 透(つはこ とおる)
沖縄県商工会連合会
支援課 専門経営指導員
シニアアドバイザー／中小企業診断士
琉球大学卒業後、大手メーカー等を経て平成7年に与那原町商工会で経営指導員として採用される。商工会での業務の傍ら大学院に進学し、修了後は沖縄国際大学や沖縄大学で夜間部の非常勤講師を5年間勤めた。
〈イラスト〉北谷町商工会 経営指導員 安里昌浩 作